

認定こども園

帯広の森幼稚園

遊んで学ぶ 学んで育つ

～小さな冒険はじめよう～



園長便り

令和2年度 No.6 (2020年6月25日発行)

園長：今野隆雄

緊急事態宣言解除で漸く平常保育スタート！

待ちに待った日常教育活動 ゴ—ゴ—ゴ—

年長さん・年中さん『挑戦遊び』にチャレンジ！

年長さんは、挑戦遊びの「竹登り」を開始。どの子も真剣な眼差しで、そして意欲的に挑戦していました。「スルスル」といとも簡単に頂点に達し見事に誇らしげに鈴を鳴らしていた子。「よ～し、がんばるゾ」と気合いを入れて、クラスの応援を背に受けて、どの子も久し振りの挑戦活動に笑顔で挑んでいました。

年中さんは「平均台」と「大縄跳び」の挑戦遊び。平均台は殆ど手助けを借りずに渡り切っていました。中には何人かバランスを崩して平均台から落ち、その場から気を取り直して頑張っていた子もいました。「大縄跳び」は『10回跳び』の挑戦が初めてだったことから、なかなかむずかしかったようです。これから遊びを通して練習し、子ども達の活動意欲を盛り上げていくことになるでしょう。



帯広の森幼稚園 YouTubeチャンネルに動画を公開中。URLはシルフにてお知らせします。

年少さん『粘土指導』

制作活動の前段として『粘土指導』（ヘラの有無）『のり指導（のりを使った制作）』

粘土制作では、楽しんで夢中になって自分の作りたいものを制作し、出来上がったものを得意気に先生やお友だちに披露（アピール）していました。

のり指導では、全体指導だけではなく、個別指導も適宜取り入れ、子ども一人ひとりの支援・援助に努めていくことが大切です。

登園バス…添乗！

6月8日（月）～6月11日（木）まで4日間、登園バスに添乗し、バス停でのお子さんや保護者の皆さんの様子を確認させて頂きました。

何と言ってもバス停では、おさんの安全確保のため、おさんの手をしっかりとつないでいるということ。そして、添乗の先生へと引き継いでいただくこと。おさんの健康状況…等々を適確に申し送っている様子を知り、安全・安心の徹底をうかがうことができました。

いずれにしましても、幼稚園からお願い事項

- ①欠席や送りの連絡
 - ②必ず5分前迄にはバス停へ
 - ③バス停でのおさんの安全確認の徹底を…等々
- 保護者の皆様のご協力とご支援に心からお礼申し上げます。

本園のバス利用は、登降園を含めおよそ148名利用、76%の状況で、通園手段の重要な役割を果たしています。今後も事故のない安全・安心の運転に努めていきたいと思っていますので、宜しくお願いします。



今週の出来事

世界に1つだけの光る泥だんご

誰のが1番光っているかな???

6月22日（月）、23日（火）、24日（水）に、年長さんが泥だんご作りを行いました。今年も十勝左官工業協同組合の南川さんにお手伝い頂きながら、ピッカピカの泥だんごが完成しました。

漆喰を塗って、乾かし、磨くという作業を繰り返した後、自分の好きな色を塗ってまた磨きます。落とさないように優しく持ちながら磨いている子ども達の表情は真剣でもあり、とても楽しそうでもありました。

完成した泥だんごを見てみると、1つとして同じ柄は無く、子ども達の個性そのものです。まさしく“世界に1つだけの泥だんご”が完成です。

